

中学生考案

「八(はち)ンバーグ」に大歓声



ハンバーグを美味しく召し上がっている中学生たち

4月21日、市内の各小学校で「ハンバーグ」と名付けられたハンバーグやタケノコご飯などの給食が子どもたちに受けられました。  
「ハンバーグ」は今年2月、子ども目線で考えたアイデアを市長に提言する八幡市子ども会議で「八幡の食」をテーマに発表した中学生のグループが考案。「学校給食に使ってほしい」と提案したのがきっかけで、3月の献立作成部会でメニュー化を決定しました。

八幡市産タケノコ入り

「ハンバーグ」には、八幡市産タケノコのほか、シイタケ、ニラなど8種類の具が入っています。旬のタケノコの食感を楽しんでもらおうと、調理員が7×8㎝角に刻み入れて、てりやき風に味付けしました。  
八幡小学校では、6年2組の児童24人が明田市長と給食を味わいました。同小6年生の狩野悠人くんは「タケノコがコリコリしておいしかったです。また食べてみたい」と大好評でした。

竹とツバキ 多彩な競演

「雪椿」など原種30種を紹介

4月1日～3日の3日間、春の訪れを告げる「松花堂つばき展」が松花堂庭園で開催されました。来場者は竹と見ごろを迎えたツバキ約800種の多彩な競演を楽しみました。

今年で23回目を迎えた同展は松花堂庭園・美術館、市の共催。やわた椿愛好会らの協力を受け、生け花、鉢植えのほかに日本原産「雪椿」や中国原産「セミセラータ」など30種類の原種ツバキを切り花で紹介しました。

庭園入り口から美術館別館までの通路、池や小川に飾られたツバキが来場者をお出迎え。2、3日には、和菓子や茶器までツバキの形をあしらった「椿づくしのお茶会」も開催されました。

初めてつばき展に来たという久御山町在住の今西美奈都さん(27)は「こんなに多くの種類がそろってびっくり。竹とツバキの組み合わせが面白かったです」と、話していました。



会場中に施されたあでやかなツバキが来場者を魅了(4月2日)

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報誌についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



男山第2住宅周辺を鮮やかに彩るシバザクラ(4月17日)

まるで「花のじゅうたん」  
シバザクラ満開

男山第2住宅で育てているシバザクラが今年も満開になりました。のり面などに敷き詰められたシバザクラはまるで「花のじゅうたん」のように、訪れる住民の目を楽しませています。  
居住者でつくる園芸クラブ13人が中心となりシバザクラを管理。ほかに団地内の樹木の枝切りや草花の手入れなど、地域の環境美化に努めています。  
シバザクラの植栽は、環境美化と居住者同士の交流づくりにきつかけにしようとして、平成17年から開始。株分けなどで花の数を増やし、13カ所に約8千株を植えています。  
平成20年度には、芝桜の郷を目指し取り組みが評価され、府景観美化推進大賞を受賞されました。  
園芸クラブ部長の木下寿さん(73)は「住民に『いつもありがとう』と言われる、励みになります。これからも、親しみのある住環境を保っていきたい」と、意気込んでいました。

「あし湯」で湯ったりいい気分

「居住者交流の場に」

長年放置されていた空間広場を改修し、居住者の憩いや交流の場として利用してもらおうと、男山第3住宅管理組合と居住者でつくるボランティアチームが計画を進めていた「あし湯」が、3月27日に完成しました。

「あし湯」は、第3住宅に住んでいた故人から「居住者の福祉関連に役立てていただきたい」と託された寄付金で設置したものです。

湯船の大きさは縦2m、横1m、深さ約30cm。約10人が囲むように腰かけながら足を湯

に浸せます。電気給湯機から適温の湯が届けられ、いつでもポカポカ。利用料は無料。月、水、金、日曜日の午前10時～午後3時に利用できます。

同組合理事長の裕登一勇さん(73)は「高齢の居住者が増えており、第3住宅に住む方々が楽しく交流する機会を設けていくことが必要。数多くの居住者に利用してもらいたい」と、話しています。

■問い合わせ先

男山第3住宅管理組合(☎982-0408)



「あし湯」で明田市長と談笑する男山第3住宅の居住者